

# KUMON × 朝日おかあさん新聞

## INTERVIEW

くもんの先生に朝ママ読者リポーターがインタビューします!

# 輝く笑顔を全力でサポート! 子どもたちと一緒に成長する毎日です



### 鈴木先生の1日のSCHEDULE

教室がある日(火・金曜日)の私の1日をご紹介します

6:20 起床

家族そろって朝ごはん

7:30 子どもたち登校

夕食作り・家事など  
夕食は温めて食べやすいワンプレートの盛り付けに

11:00 Relax Time

ひとりのくつろぎ時間



教室が始まる直前は、ゆったりと過ごします

教室の前はリラックスしたほうが、私の場合は指導に集中できることがわかりました。本を読んだり、テレビを見たりして、ゆったり過ごします。

教室の準備はほかの日に

生徒さんの学習の様子を思い浮かべながら、ていねいに教材を準備します

13:30 支度をして自転車で教室へ

14:30 教室スタート

Switch ON!

生徒さん一人ひとりの「やる気」を引き出します!



ヒントを与えたり



励ましたり



ほめたり



しっかりと待ったり

20:30 教室終了

子どもたちが夕食やお風呂を自分たちですませてくれているので助かります

21:00 帰宅

夕食

子どもたちの今日の報告を聞きながら……

22:00 子どもたち就寝

「ママ、ハグして」と子どもたち。ムギュッと抱きしめると、寝れも吹き飛ばす

風呂など

24:00 就寝

公文式  
蒲生旭町教室  
(埼玉県越谷市)  
鈴木結花先生

「わかった!」その瞬間が  
きっと未来へとつながっている  
教室の子どもたちから  
たくさんの元気をもらっています



くもんの先生  
+  
朝ママ読者  
リポーター

「くもんの先生」ってどんなお仕事で、どんな方が活躍しているのでしょうか? 埼玉県越谷市の公文式蒲生旭町教室で子どもたちを指導する鈴木結花先生を、朝ママ読者リポーターが訪ねました。

教室が楽しい  
逸見 亜希子さん(以下、逸見)  
こんにちは。わが家の三人の子どもたちは、近所にある公文式教室にお世話になりました。  
鈴木結花先生(以下、鈴木)  
ありがとうございます。お近くに教室があるんですね。  
逸見 はい、くもんの先生が大好きな長女は、中学生になった今でも教室に通っています。

鈴木 それは、うれしいです。生徒さんが喜んで通ってくれていることが、私たち指導者にとって一番の喜びです。  
逸見 とても印象的だったのが、教室に生徒さんが入ってきたときに、先生が背筋がピンと伸びたこと。思わず「かっこいいと思いました」。(笑) 教室に入るとスイッチがオンに切り替わるというか、「よしっ!」と気合が入ります。教室が本当に楽しいんです!

逸見 くもんの先生になられたきっかけを教えてください。  
鈴木 結婚と同時に埼玉県に引っ越して、しばらくは専業主婦をしていました。育児中心の毎日だったので、二人目の子どもが幼稚園に入ったときに、少し時間に余裕ができたと感じ、何かはじめたいと思いました。  
逸見 幼稚園のお子さんがいたのに、すごいですね。  
鈴木 母の影響かもしれないです。実は私の母は看護師なんです。幼い頃から見てきた、ハッラツと仕事に打ち込む元気な母の姿が、私の背中を押したのかもしれないですね。

逸見 自慢のお母様ですね。  
鈴木 はい、私も母のようにイキイキと働く姿をわが子に見てほしいと思います。やりがいを持ってできる仕事を、と探していたときに、くもんの先生を募集していることを知り、さっそく調べて説明会へ行きました。

逸見 ご自身で教室を開業されるというのに不安はありませんでしたか?  
鈴木 はい、わからないことばかりでしたが、事前に生徒募集などの運営方法の研修がありました。何でも相談できる専任の担当スタッフもついてくれて、教室の場所選びなど具体的なアドバイスがあったので、スムーズに開設することができました。

一人ひとりに寄り添いたい  
鈴木 くもんの先生説明会で、とくに魅力を感じたことは、「教材が先生」ということです。公文式は、教材を自分で解き進めていく学習法なので、指導者は教壇に立って教えるのではなく、やる気を引き出す子どもたちのサポートナーであるんです。子どもとじっくり向き合えると感じました。

逸見 やりがいにつながります

「朝ママ読者リポーター」  
へんみあきこさん  
(高校2年・1年の男子、中学1年の女子のママ)

「くもんの先生」「お母さん」「主婦」……どの立場でも濃とされていく素敵な鈴木先生。こうありたいというご自身の夢や目標を掲げて、それに向かって、「まずやってみよう」と行動されているからだと思います。



逸見 わかります、くもんの先生は、子どものすぐそばで見守ってくださる感じがします。  
鈴木 そうなんです、くもんの先生になってわかったことは、誰ひとりとして同じ子どもはいないということ。その時々、その子の状況に寄り添って、声かけや励ましなどの対応を考えます。教材の内容や宿題なども、生徒さんの学習の様子を思い浮かべながら準備します。

自分の成長を実感  
逸見 勉強会があるのですか?  
鈴木 公文式の指導方法はもちろん、子どもたちへの声かけについての勉強会などもあつたりしています。毎回目からウロコの内容で、教室で実践するように心がけています。

逸見 私は子育てについて悩んだとき、くもんの先生にアドバイスをいただけて乗り越えてきました。先生の温かなお人柄とともに、先生ご自身の研鑽という努力もあつたんですね。  
鈴木 くもんの先生を続けていると前向きな気持ちになれて、



くもんの先生  
鈴木結花先生  
(中学1年・小学5年の女子のママ)

教室を開業して7年目。「教室で頑張る生徒さんの姿を見ると、もっとたくさんの子どもたちをサポートしてあげたい!」という想いが大きくなりました!

教室は週に2回!  
メリハリ生活でママ友とのランチも楽しんでます

教室があるのは火曜と金曜日。教室の準備などの仕事は自分の都合に合わせて取りまわすことができます。ママ友とのランチなどの予定がある時は、やらねばならないことを集中的に。春・夏休みの前には仕事を先取りして、旅行の時間を捻出しています。

バレエの晴れ舞台に立つ長女  
ピアノの発表会で演奏する次女

子どもたちの夢を応援したい  
土曜・日曜と教室のない日の夕方は、わが子の習い事の送り迎えをしています。幼い頃から続けているバレエとピアノ……二人の成長ぶりを目にする幸せを感じます。

Harmonies with KUMON  
ママのいろんな生き方、働き方が見つかるWebマガジン  
<https://harmonies.kumon.ne.jp/>



伸びていく。  
子どもの未来も、  
わたしの未来も。



## あなたの「くもんの先生」度をチェック!

- 長く続けられる仕事をしたい。
- 仕事を通じて成長したい。
- 自宅の近くで働きたい。
- 子育てと仕事を両立したい。
- 子どもとかかわる仕事をしたい。
- 働く時間を自分でコーディネートしたい。

あてはまる項目が多いほど、くもんの先生に向いているかも!? です。!

あなたに、くもんの先生という働き方。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-834-414 受付時間9:30-17:30 土・日・祝日を除きます

公文教育研究会

まずはホームページをチェック! くもんの先生

